



うおぬま通信

第8回

保存版

[発行]新潟県 2020年3月 第8回 上手な医療機関のかかり方とは? 「役割分担」と「連携」が支える魚沼地域の医療



魚沼地域
医療の輪
地域全体でひとつの病院

上手な医療機関のかかり方とは?

「役割分担」と「連携」が支える魚沼地域の医療

魚沼地域における外来の役割分担をさらに進めていきます

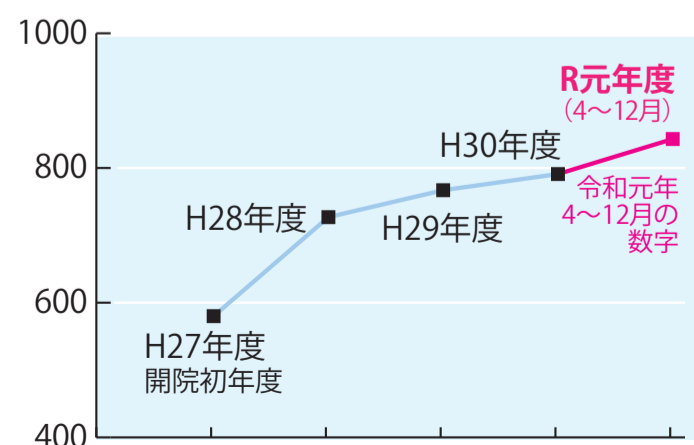
2015年6月、魚沼基幹病院の開院に伴い、魚沼地域の医療再編が本格的にスタートしました。この医療再編の基本理念である「地域全体でひとつの病院」とは、医療機関ごとに役割分担を行い、一人の患者さんを各医療機関が連携して、症状に応じて他の医療機関を紹介しながら診療する仕組みです。

そのような中で、魚沼基幹病院が担う最も重要な役割は、生命に関わる重大な疾患や外傷を持つ患者さんに対応する三次救急と、放射線治療や高難度手術等の高度医療を提供し、地域の中で医療を完結でき

る体制を実現することにあります。

開院以降、魚沼基幹病院には多くの患者さんが来院されており、一日あたりの平均外来患者数は右肩上がり増加しています。患者さんの症状はさまざまですが、すべての患者さんが特定の医療機関に集中する状況が続くと、限られた医療スタッフや設備では十分な対応ができなくなり、質の高い医療サービスを効率的に提供することが難しくなります。地域の皆さまには、「地域全体でひとつの病院」のために、医療機関の役割分担と連携について引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

魚沼基幹病院の一日あたり平均外来患者数



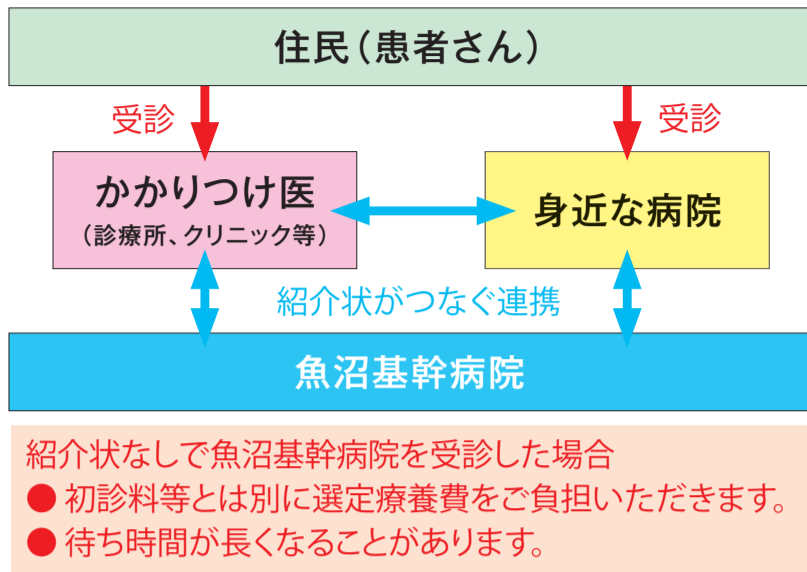
(単位:人)

一日あたり平均外来患者	
H27年度	580
H28年度	727
H29年度	767
H30年度	791
R元年度 (4~12月)	843

(単位:人)

地域のかかりつけ医と病院の役割分担と連携

～症状に応じて適切な医療機関を受診しましょう～



かかりつけ医や身近な病院

普段の健康管理や体調不良、重症期を脱した患者さんの入院などを担当します。必要に応じて、専門的な検査・治療を受けられる医療機関を紹介します。

魚沼基幹病院

緊急・重症な病気や専門的な検査・治療を担当します。軽症の場合や、重症期を脱し症状が安定した場合など、患者さんの症状に応じて身近な医療機関を紹介します。（逆紹介）

魚沼地域では、診療所やクリニック、身近な病院、魚沼基幹病院がそれぞれ役割分担を行い、患者さんの症状に応じて他の医療機関を紹介しながら診療する仕組みとなっています。風邪などの日常的な病気や軽度のけがは、診療所等の「かかりつけ医」を受診していただき、緊急・重症な病気や高度・専門的な検査、治療を必要とする

ときは、紹介状などによって魚沼基幹病院を受診していただくスムーズです。また、症状が安定した場合は、再び身近な病院や「かかりつけ医」を紹介（逆紹介）することもあります。まずは、病歴や健康状態などを把握して健康管理全般のアドバイスをしてくれる地域の「かかりつけ医」を受診しましょう。

魚沼地域の医療と介護を支える大切な仕組みです **〈大人から子供まで!〉**

”うおぬま・米ねっと”



「うおぬま・米ねっと」は、魚沼地域（十日町市・魚沼市・南魚沼市・湯沢町・津南町）の病院、診療所と調剤薬局などをネットワークで結び、患者さんの診療情報と介護情報を共有する仕組みです。検査結果やお薬の情報など、参加医療機関同士で共有し、診療等に活用します。また緊急搬送時には、これまでの記録を参照し適切な準備をして到着を待つことができます。さらに2019年4月からは介護施設、訪問看護・介護、歯科診療所も加わり介護現場での行き届いたサービスにも役立ちます。

加入無料 申込み方法・お問い合わせ

【申込書】 病院や市役所、町役場に加入申込書がありますので、各窓口にて提出するか、下記の事務局まで郵送をお願いします。

【お問合せ先】 NPO法人 魚沼地域医療連携ネットワーク協議会（うおぬま・米ねっと事務局）

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132番地 魚沼基幹病院内

電話：**025-788-0485**（平日8時30分～17時）

メール：iryoutaisaku@soleil.ocn.ne.jp

魚沼基幹病院インフォメーション

魚沼基幹病院の選定療養費（紹介状なしの初診料等）が改定されます。

魚沼基幹病院は、地域の医療機関との役割分担のもと、救急医療・高度医療を担っていますが、開院以来軽症の患者さんの外来受診が多く見られます。また、地域の医療関係者からも、魚沼基幹病院の外来患者数が年々増加しており、これまで以上の機能分担、医療機関の相互連携を進めることが課題と言われています。魚沼地域の病院、診療所間で相互に患者さんを紹介しながら診療を行う「地域全体でひとつの病院」という理念の実現に向けて、令和2年4月1日から以下のとおり選定療養費の改定を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

区分	対象	現行料金 (税込)	改定予定料金 (税込)
初診時	他の医療機関からの紹介状をお持ちでなく、当院を初診で受診される場合	2,200円	【医科】15,500円
			【歯科】13,300円
再診時	当院での治療が終了し病状が安定したため、他の医療機関へご紹介した後に、紹介状をお持ちにならずに再度当院を受診を希望される場合	—	【医科】12,750円
			【歯科】11,650円

徴収の対象外になる場合は次のとおりです。（例）

- 紹介状を持参する場合
- 救急車で来院し、救命救急外来を受診する場合
- 公費負担医療制度を利用している場合 など

精密な3D画像を確認しながら手術を行うことができる装置O-armイメージングシステムを導入しました。



2019年11月に、中越地区で初（県内4台目、全国約70台目）となる術中支援装置O-armイメージングシステムを導入しました。O-armは、アルファベットの『O』という形を模した、手術中に使用可能なCT装置です。

特に高難度の脊椎手術で威力を発揮し、小さな切開で正確な手術を行うことができます。また、手術直後にその場で手術結果の確認もできるため、手術時間の短縮にもつながります。加えて、手術中にX線撮影・透視を頻繁に行う必要がなくなるため、患者さんや医師・手術室スタッフの被ばくが大幅に低減します。導入により、これまで以上に患者さんにご負担の少ない手術が可能となりました。

がん診療連携拠点病院の指定を目指しています。

国は、がん対策の一層の充実を図るため「がん対策基本法」を制定し、がん診療連携拠点病院を二次医療圏に原則1か所整備することを目指していますが、魚沼医療圏には、これまでがん拠点病院がありませんでした。

魚沼地域のがん診療の中心的な役割を果たすよう、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの5大がんを始めとする全てのがんの診療体制の充実を図ります。

具体的には、地域の医療機関と連携し、魚沼医療圏域内でがん治療が完結出来る体制を構築します。また、研修体制を強化し、地域全体のがん診療の質の向上を図ります。がん患者の病態に応じ、より適切ながん診療を提供できるようがん薬物療法専門医、放射線治療医や病理診断医など専門的な知識や技能を有する医師と意見交換を行いながら治療にあたります。また、がんと診断された時から、多職種で構成する緩和ケアチームがあらゆる面でサポートします。

新たにごがん相談支援センターを設置し、がんに関する相談などの機能を強化します。



先輩の声



魚沼基幹病院では看護職員を随時募集しており、Uターンを進めています。県外の病院で勤務されているお知り合いの方などいらっしゃいましたらご紹介ください。詳しくはホームページもしくは魚沼基幹病院までお問い合わせください。



hp <http://uonuma-nurse.info>
担当：事務部総務課人事給与係 TEL:025-777-3200（代表）



救命救急・外傷センター
看護師 水越かすみさん

魚沼基幹病院の魅力は、新人教育の手厚さです。先輩方は疾患の知識が豊富で、技術も正確。仕事をテキパキとこなしながらも患者さんとのコミュニケーションをはかることができ、指導もしてくださる、頼りになる先輩ばかりです。また、魚沼地域は自然豊かで、休日にやれることには事欠きません。オフの日は、職場の仲間や同窓生と一緒に、山や海へ出かけたりして気分転換しています。